

2025年度 医療の質 可視化プロジェクト

今年度も実施します!!

参加費
無料

「質」の努力を

見える形へ

医療の質可視化プロジェクトとは、
院内データを活用して、
自院の診療・ケアの質を可視化するプロジェクトです。

病院の機能・規模等にかかわらず、
医療の質のさらなる向上を目指すオールジャパンの取組です。

本プロジェクトの流れ

指標計測・データ提出

DPCデータや院内データの活用で、
計測がより手軽になりました！



事務局からの フィードバック



提出データを機構にてグラフや
表にまとめ、
視覚的にフィードバックします。
経時的変化や他施設比較から、
自院の状況を把握できます。

医療安全、感染管理、ケア
に関連した指標の数値を計測し、
機構に提出します。

2024年度は688病院が参加！

参加病院
募集!!

詳細・お申込みは下記URL・QRコードから
https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/event/kashika_project_2025

お申込開始：5月1日（木）



*参加対象：指標を用いた取組に関心のあるすべての病院

*実施期間：2025年6月2日～2026年3月31日（計測対象期間：2024年10月1日～2025年9月30日）

今年度プロジェクトで扱う指標(9指標)

今年度も、医療安全・感染管理・ケアに関連する9指標を扱います。
なお、これらの指標は、令和6年度診療報酬改定に準拠した定義・手順で運用します。

テーマ	質指標
医療安全	①転倒・転落(件数), ②転倒・転落(3b以上), ③肺塞栓の予防(リスクレベル「中」以上)
感染管理	④血培2セット, ⑤広域抗菌薬使用時の細菌培養, ⑥予防的抗菌薬投与
ケア	⑦褥瘡発生(d2以上), ⑧入院早期の栄養アセスメント(65歳以上), ⑨身体的拘束

プロジェクトに関するよくあるQ&A

Q すべての指標を計測できなくても、プロジェクトの申込みは可能ですか？

A 原則、すべての指標を計測いただきますが、計測自体が難しい指標は割愛できます。
計測可能な指標が一つでもあれば、本プロジェクトへの参加が可能です。

Q DPCデータを用いる指標は、データそのものを提出すればよいですか？

A DPCデータそのものの提出は受け付けていません。院内で集計のうえ、
分子・分母の値を記入した計測ワークシート（Excel：申込後に配布）をご提出ください。

Q 本プロジェクトは病院機能評価の認定と関連づけられますか？

A 質指標に関するデータの収集・分析・活用は、病院機能評価の評価対象ですが、
本プロジェクトの参加状況や集計結果は、評点や認定の可否に直接関係しません。

Q 同じ指標で、DPC様式1と様式3では定義が異なりますが、それぞれデータを提出するのですか？

A 各指標、複数のデータソースの中から一つを選択して計測してください。

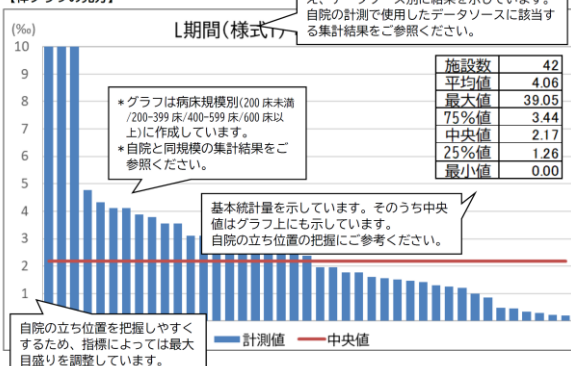
24年度集計結果を公表中です

報告書には1年分(2023年10月1日～2024年9月30日)のデータを病床規模やデータソース別にまとめています。他施設比較可能なグラフで、自院の立ち位置を把握することができます。

～集計結果報告書の主な内容～

- 本報告書について
- 各指標の計測状況・計測結果
(棒グラフ、層別集計表)
 - 医療安全
 - 感染管理
 - ケア
- 参加病院の属性情報
- データ提出病院一覧 etc

【棒グラフの見方】



24年度に扱った各指標の定義・計測手順および集計結果に関する詳細は「2024年度 医療の質可視化プロジェクト」サイト（https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/event/kashika_project_2024）をご覧ください。